

夢アイデアまちづくりに関する提案

提案名：過疎化地域の魅力を発信できるまちづくり～廃校を活用した朝市の開催～

前置き

現在、少子高齢化や都市部への人口流出などにより、地方地域の過疎化が進んでいます。確かに都市部は魅力的ではあると思いますが、地方や地域にも、都市部にはない大きな魅力があると考えています。

私は夢アイデアとして、地方地域の魅力を発信できるまちづくりを提案したいと思います。

提案背景

地方の過疎化が進行すると、学校の統合・廃校化といった現象が起こります。現状、地方で廃校を有効活用した例として、廃校を改装して宿泊施設とした事例などがあります。廃校を一つの資源やリソースとして捉えると、私は地方の過疎化が進行している状況だからこそ、もっと地域の魅力の周知や、地域内・地域外の交流のために活用できるのではないかと考えました。

魅力があっても、他の地域の方は知らないことが多いですし、その地域に住んでいる方であっても、意外と知らないことや魅力と感じていない、といったことはあると思います。

地域外の方にその地域の魅力を知ってもらうことで、その地域に行きたい！と思わせたり、地域住民同士でも、改めて地域の魅力を確認したり交流を深めることで、愛着を感じ、地域活性化に繋がるのではないかと考えます。

よって、地域の魅力を発信できるようなまちづくりのためのアイデアの一つとして、有効活用されてない廃校を活用した、「廃校朝市」を行うことを提案させていただきます。

概要説明

(1) 地域の農産物を使用した料理や特産品などの販売

廃校となった学校のグラウンドを使用し、地域の農家の方などにブース形式で出店していただきます。

各ブースで、収穫物を使用した料理や特産品などを参加者に販売します。

例)

米農家：おにぎり、炒飯

野菜農家：サラダ、豚汁、カレー

ぶどう農家：ぶどう、ブドウジュース

酪農家：プリン、ステーキ、牛乳、焼き鳥

酒蔵：地酒

味噌屋：味噌の食べ比べ、味噌作り講座

その他、地域の特産品や名物、郷土料理なども！

(2) 飲食が可能なスペースの設置

グラウンドの中心には椅子とテーブルを設置し、参加者が飲食可能なスペースを用意します。

周囲の方と交流しながら、地域で収穫した農産物などを使用した料理を楽しんでいただきます。

(3) イベントの開催

習い事を行なっている教室を運営している方や、バンド活動などを行なっている方々にパフォーマンスとして披露していただきます。

例)

ダンス、バンド、フラダンス、空手など…

他にも、飲食物の販売スペースでも、料理教室や体験教室などのイベントも開催します。

例)

味噌屋：味噌の食べ比べ、作り方講座

野菜農家：野菜嫌いな子どもでも喜んで食べれるレシピの紹介

廃校朝市を行う利点

- 地域住民同士の交流の場になる。
→料理や商品を通じ、交流を深めるきっかけに。
- 地産地消に繋がる。
→流通経費を抑えることができる。子供の食育にも効果的。
- 観光客の増加
→地域の特産品や名物をまとめて楽しむことができる。
- 地域の様々な方の PR の場になる。
→ブースを出したりイベントを開催することで、周知に繋がる。
- スペースの確保が容易
→廃校のグラウンドで行うため、学校の大幅な改修工事などが必要ない。
会場が母校の方が参加したくなる
→地域のイベントのため、会場が母校だという方も多いはず。懐かしさから参加する可能性も高くなる。

最後に

過疎化が進行している地域こそ、地域内外の交流や魅力の発信・周知などが重要だと思います。

各地方地域がそれぞれの魅力を発信し、かつ地域住民がそれを楽しむことができるまちづくりが出来れば、みんなが楽しくなるし、地域活性化にも繋がるのではないかと考えます。